



の易疲労感がある場合には、重症筋無力症などの全身疾患の可能性も念頭に置く必要がある。さらに、急性発症の眼瞼下垂や眼球運動障害、瞳孔不同を伴う場合には、動眼神経麻痺や脳血管障害などの緊急疾患を除外する姿勢が求められる。

このように、「よく問診する」「よく観察する」「眉を固定してみる」という三点を意識するだけでも、専門外診療科における眼瞼下垂の見逃しは大きく減少し、適切なタイミングでの専門医紹介が可能となる。

【おわりに】

眼瞼下垂は、視機能、整容、心理という三つの要素が密接に関連し合う疾患である。本疾患に対する正しい知識を持ち、適切な診断と専門医への紹介を行うことで、長年「まぶたの重み」や「体調不良」に悩んでいた患者を救い、生活の質を劇的に向上させることが可能である。一般診療を担う諸兄におかれても、本疾患への理解を深めていただければ幸いである。

【参考文献】

- 1) Finsterer J. Ptosis: causes, presentation, and management. *Aesthetic Plast Surg.* 2003;27:193-204.
- 2) 日本形成外科学会編：形成外科診療ガイドライン 第4版. 金原出版, 2022.
- 3) 高原英作, 新垣実：当院における眉毛下皮膚切除術の工夫と患者満足度. *日本形成外科学会誌* 2022;42(2):102.
- 4) 森田耕輔ほか：眼瞼皮膚弛緩症：重瞼線切開法. *眼科* 2022;64(3):229-234.
- 5) 村上正洋：眼瞼皮膚弛緩症：眉毛下皮膚切除術. *眼科* 2022;64(3):235-243.
- 6) 三谷重里沙ほか：眼瞼下垂手術が視機能に及ぼす影響. *眼科* 2022;64(3):245-251.

お知らせ

文書映像データ管理システムについて（ご案内）

さて、沖縄県医師会では、会員へ各種通知、事業案内、講演会映像等の配信を行う「文書映像データ管理システム」事業を平成23年4月から開始しております。

また、各種通知等につきましては、希望する会員へ郵送等に併せてメール配信を行っております。

なお、「文書映像データ管理システム」（下記 URL 参照）をご利用いただくにはアカウントとパスワードが必要となっており、また、メール配信を希望する場合は、当システムからお申し込みいただくことにしております。

アカウント・パスワードのご照会並びにご不明な点につきましては、沖縄県医師会事務局（TEL098-888-0087 担当：宮良・國吉）までお電話いただくか、氏名、医療機関名を明記の上 omajimusyo@okinawa.med.or.jp までお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

○「文書映像データ管理システム」

URL： <https://www.documents.okinawa.med.or.jp/Dshare/header.do?action=login>

※ 当システムは、沖縄県医師会ホームページからもアクセスいただけます。

